



普及センターだより

発行日

2022.8.1

第172号

西讃地域の多様な担い手紹介シリーズ②5

～若手農業者紹介～

若い世代が水稻の作業受託と麦の共同作業に取り組む!

～若い力で地域農業を守る～



藤田晴生 会長



—— 観音寺市常磐地区 ——

トキワアグリ集団

観音寺市常磐地区を中心に作業受託組織で活動しているトキワアグリ集団は、親世代の高齢化により、後継に危機感をいだき始めたころの平成25年に子世代で青年部を立ち上げ、作業の引継ぎを受けながら経験を積み平成27年10月に設立、認定農業者と兼業農家で構成されています。

平均年齢は49歳と若く、各々水稻、麦類、大豆、野菜及び畜産を組み合わせ、受託作業の水稻収穫は17ha、麦類収穫は24haを担い、常に2人体制で臨み、員外委託者からの要望へも早期に対応できるようにしています。組織活動のメリットは、大型機械の導入が可能で、共同作業による作業時間の短縮が図れ、構成員各々の経営メインとなる作目に重きを置くことができ、地域からの要望にも応えやすく、様々な農家との交流で人を知ることができることです。

これまでの活動実績から最近では、農地を預かってほしいという要望が多く、構成員の各々で集積する対応をしてきましたが、限界も近くなってきたことから、仲間作りやオペレーターの育成に取り組む必要があると感じています。

今後は、一緒に活動する仲間作り、集団構成員への加入を進めるなどで、地域の農業を守ることに継続して貢献できる活動ができればと思っています。

SNS を活用した活動を行っています！

西讃農業者クラブ

西讃農業者クラブは、観音寺市と三豊市の若手農業者20名で活動しており、交流や研修会を通じて農業経営の資質向上を目的とした組織です。就農年数は1～9年目、経営品目は露地野菜、施設野菜、果樹、養蚕と多岐にわたっており、クラブのグループLINEを作り、活発に意見交換を行っています！

クラブでは、毎月1回クラブ員のほ場視察や外部講師を招いての研修会を行っています。新型コロナウイルスの感染拡大により、活動ができない時期もありましたが、クラブでZoomアカウントを取得し、現地だけでなくオンラインでも参加できる環境を整えたことで、オンライン参加するクラブ員も増えてきています。

青年農業者同士のつながりを作り、交流を深められる「西讃農業者クラブ」に参加してみませんか。

加入希望者は、普及センター担い手育成部門までご連絡ください。

オンラインでも参加可能！



研修会の様子



現地研修の様子



西讃地区農業士会

西讃地区農業士会は、観音寺市と三豊市に居住する香川県農業士48名および青年農業士5名、計53名で活動しております。主な活動は、相互の親睦や連携を図り、新規就農者への助言や子供達への農作業体験、資質向上に向けた研修会、先進地視察を行っています。

当農業士会では、新規就農者やこれから就農を目指す者が相談しやすいように、令和3年度より個々の農業士の紹介ビデオを撮影しており、西讃農業改良普及センターのホームページからリンクできるようにしています。現在は14名のビデオができており、今後も紹介者を増やしていく予定です。

また、令和4年度から「西讃地区農業士情報交換グループ」のLINEを開設し、農業士間の情報交換を活発にするとともに、新規就農者に対し不要になった資材情報を提供する取組みも始めました。

—新規就農者を応援します—
農業士・青年農業士MAP(観音寺市)

HPのイメージ

西讃 農業士活動 検索

農業士紹介ページ

① 稲作+露地野菜	⑩ 稲作+麦類作+露地野菜
② 露地野菜+稲作	⑪ 稲作+露地野菜
③ 稲作+露地野菜	⑫ 稲作+露地野菜
④ 露地野菜+施設野菜	⑬ 稲作+露地野菜
⑤ 露地野菜+稲作	⑭ 露地野菜+稲作+麦類作
⑥ 施設野菜	⑮ 露地野菜+稲作
⑦ 露地野菜+施設野菜	⑯ 施設野菜+露地野菜+稲作
⑧ 稲作+麦類作+露地野菜+作業受託	⑰ 稲作+露地野菜
⑨ 露地野菜+花卉+花木	⑱ 稲作+露地野菜+施設野菜
⑲ 稲作+露地野菜	⑳ 稲作+露地野菜+施設野菜
⑳ 露地野菜+稲作	㉑ 稲作+露地野菜+施設野菜
㉒ 稲作+露地野菜+施設野菜	㉓ 稲作+露地野菜+施設野菜
㉔ 稲作+露地野菜+施設野菜	㉕ 稲作+露地野菜+施設野菜



動画の再生画面

シロイチモジヨトウの防除対策

夏から秋にかけては、ヨトウムシ類の発生が多くなる時期です。近年、発生時期が早く、農薬抵抗性など問題のある、**シロイチモジヨトウ**の対策が重要となっています。

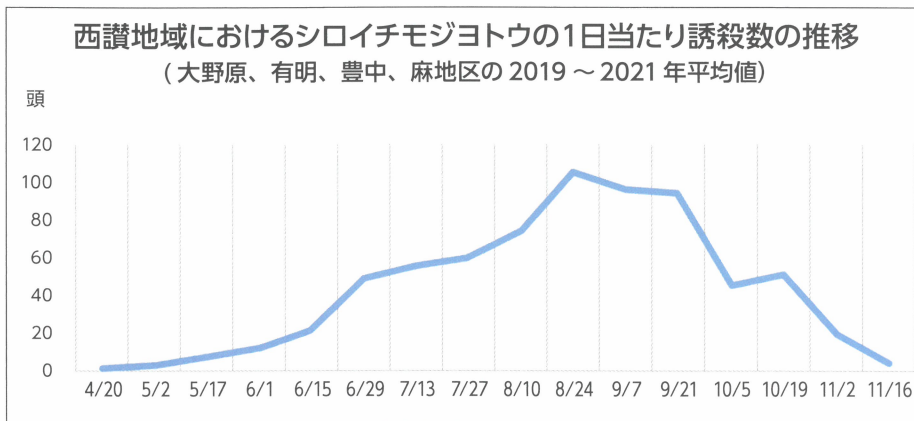
露地のレタス、ブロッコリー、キャベツ、ネギの他、施設のキュウリやトマトなど多くの野菜や花き類で被害が多発しますので、下記を参考に適正防除を行いましょう。



ネギに寄生するシロイチモジヨトウ
写真提供：農業試験場病害虫防除所

シロイチモジヨトウの生態

- ・雌は10～100個の卵塊を数回に分け、一頭約1000個産卵します。
- ・一世代約1か月、年間4～6世代繰り返します。



(西讃農業改良普及センター調べ)

防除のポイント (農薬散布は、散布する作物への農薬登録を確認しましょう。)

- ①レタス、ブロッコリーなど、作物が大きくなると農薬がかかりにくくなったり、葉ネギでは葉鞘内に入り込み農薬がかからなかったりするため、作物の生長とともに定期的に防除しましょう。
- ②農薬散布は、植物体の葉裏まで掛かるように丁寧に散布しましょう。
- ③幼虫は、大きくなる(老齢幼虫)程、防除効果が劣るため、若令幼虫期に防除しましょう。
- ④一部の農薬で薬剤感受性が低下しているため、薬剤選定には注意して防除しましょう。
(下記表参照、IRACコードが同じ数字は、同一系統農薬になるため続けて散布しないようにしましょう。)
- ⑤栽培ほ場外からの侵入を防ぐため、畦畔雑草や隣接する休耕田等の雑草にも注意しましょう。

【シロイチモジヨトウ4～5齢幼虫に対する各薬剤の感受性検定】

IRACコード	薬剤名	希釈倍数	薬剤処理葉を与えた5日後の補正死亡率(%)
5	ディアナSC	2500倍	100
	スピノエース顆粒水和剤	5000倍	80.8
6	アフーム乳剤	1000倍	19.4
	アニキ乳剤	2000倍	95.1
13	コテツフロアブル	2000倍	93.4
28	ベネビアOD	2000倍	60.3
	ヨーバルフロアブル	2500倍	78.3
30	グレーシア乳剤	2000倍	100
	ブロフレアSC	2000倍	100

(農業試験場病害虫防除所 令和2年12月調べ)



若齢幼虫期(推定2齢幼虫・体長5mm程度)
幼虫が小さい(若い)と防除効果高い



老齢幼虫期(推定4齢幼虫・体長3cm程度)
幼虫が大きい(4～5齢)になると防除効果が低い

「令和3年度西讃農業改良普及協議会表彰」受彰おめでとうございます

地域農業の発展に貢献された4名の方が香川県西讃農業改良普及協議会の山下昭史会長（三豊市長）から表彰されました。



受彰者4名 前列向かって左より

喜田 直樹（三豊市仁尾町）
三谷 憲幸（観音寺市室本町）
大西 勝（三豊市財田町）
齋藤 律男（観音寺市大野原町）

受彰された方々の今後ますますのご活躍を
祈念いたします。

※順不同で、敬称は省略させていただいております。

新たな「香川県農業士」をご紹介します

令和4年度西讃地区で、8名（うち3名が新規）の方が「香川県農業士」、「香川県青年農業士」に認定されました。今後、担い手の育成指導や地域の農業振興のリーダーとして、ご活躍されることを期待しています。

新たに「香川県農業士」に認定された方

青年農業士



川上 真弘
（観音寺市豊浜町）
露地野菜、果樹、水稲



白川 大輔
（三豊市高瀬町）
露地野菜、農産物加工



曾根 大地
（三豊市仁尾町）
花き・花木

「香川県農業士」に再認定された方

井下 隆志
（観音寺市大野原町） 露地野菜

大西 規夫
（観音寺市大野原町） 露地野菜

土井 琢司
（観音寺市豊浜町） 施設野菜

平井 康弘
（観音寺市豊浜町） 施設野菜

関子 浩
（三豊市財田町） 工芸作物

【名誉農業士】 川上真智子（観音寺市豊浜町） 小博 安雄（観音寺市豊浜町）

※順不同で、敬称は省略させていただいております。

「家族経営協定」の作成を支援します

家族経営協定は、「農業経営の方針や家族一人ひとりの役割、就業条件等」について家族で話し合い、取り決めを書面にまとめるものです。

家族内の取り決めをまとめた協定書は、農業委員会長と普及センター所長の立会のもと調印が行われ締結されます。

令和3年4月以降では、見直しを含めて6組のご家族で家族経営協定の調印式が行われ、管内158家族で家族経営協定が締結されています。

家族経営協定にご興味がある方は、お近くの農業委員会または普及センターにご相談下さい。



調印式の様子